



2012年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2011年7月8日

上場会社名 ローツェ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6323 URL http://www.rorze.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崎谷 文雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 橋本 勲 (TEL) 084-960-0001
 四半期報告書提出予定日 2011年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2012年2月期第1四半期の連結業績 (2011年3月1日～2011年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年2月期第1四半期	2,563	17.6	229	△14.4	237	△18.8	91	△50.1
2011年2月期第1四半期	2,179	422.3	268	—	292	—	182	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2012年2月期第1四半期	5	43	5	32
2011年2月期第1四半期	10	88	10	64

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2012年2月期第1四半期	16,206		7,859		41.2	398	01	
2011年2月期	15,571		7,566		41.7	386	31	

(参考) 自己資本 2012年2月期第1四半期 6,682百万円 2011年2月期 6,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2011年2月期	—	0 00	—	2 00	2 00	
2012年2月期	—					
2012年2月期(予想)		0 00	—	3 00	3 00	

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 2012年2月期の連結業績予想 (2011年3月1日～2012年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	5,362	11.3	462	3.1	453	△7.2	286	△13.4	17	05
通期	12,600	14.6	1,328	14.6	1,259	20.9	725	18.2	43	22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2012年2月期1Q	17,640,000株	2011年2月期	17,640,000株
2012年2月期1Q	850,218株	2011年2月期	850,218株
2012年2月期1Q	16,789,782株	2011年2月期1Q	16,789,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向で推移していましたが、東日本大震災の発生に伴う甚大な被害に加え、福島第1原子力発電所の事故や、これに伴う電力供給不足等が、被災地をはじめ、わが国の経済全体にも大きな影響を与えました。また、円高の長期化や株式市場の低迷等が続く中、グローバル化による世界的な競争は一段と厳しさを増しております。

当業界におきましては、スマートフォン、タブレット端末、パソコン、液晶テレビなどの需要拡大が続く中、国内をはじめ、台湾・韓国等での設備投資が継続して行われました。

このような状況の中で当社グループは、国内をはじめ台湾・韓国等の取引先から受注したウエハ搬送装置及びガラス基板搬送装置の納入にグループを挙げて対応いたしました。これにより連結売上高は、前年同期比でウエハ搬送機が18.3%、ガラス基板搬送機が7.8%それぞれ増加いたしました。

損益面につきましては、円高の長期化や、グローバル化する市場における搬送装置の受注獲得競争の激化に伴い、販売価格の低下傾向が強まる一方、新規仕様や個別仕様の装置受注が増加したことなどにより、利益確保が厳しい状況の中、ベトナム生産子会社での量産対応や、台湾・韓国における現地生産体制の強化等により、利益確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,563百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益229百万円(前年同期比14.4%減)、経常利益237百万円(前年同期比18.8%減)、四半期純利益91百万円(前年同期比50.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ635百万円増加し、16,206百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加646百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ341百万円増加し、8,346百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加83百万円、短期借入金の増加74百万円及び賞与引当金の増加74百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し、7,859百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の増加135百万円及び少数株主持分の増加92百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2012年2月期業績予想につきましては、2011年4月8日発表の「2011年2月期決算短信」から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ160千円、税金等調整前四半期純利益は9,008千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18,134千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2011年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2011年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,884,770	1,917,529
受取手形及び売掛金	2,997,819	2,928,988
商品及び製品	519,643	480,530
仕掛品	2,593,624	2,306,405
原材料及び貯蔵品	1,585,162	1,264,808
繰延税金資産	201,148	176,519
その他	147,178	170,491
貸倒引当金	△50,105	△42,575
流動資産合計	9,879,241	9,202,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,404,065	2,374,128
土地	2,349,997	2,330,639
その他(純額)	592,670	618,307
有形固定資産合計	5,346,733	5,323,075
無形固定資産		
投資その他の資産	236,274	239,529
投資有価証券	281,017	283,174
繰延税金資産	237,292	304,897
その他	227,757	219,721
貸倒引当金	△1,540	△1,468
投資その他の資産合計	744,528	806,326
固定資産合計	6,327,536	6,368,931
資産合計	16,206,778	15,571,630

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2011年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2011年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,168,034	1,084,679
短期借入金	3,330,904	3,256,282
未払法人税等	130,620	119,379
賞与引当金	120,788	46,211
役員賞与引当金	1,500	—
製品保証引当金	249,341	237,153
その他	998,026	845,191
流動負債合計	5,999,215	5,588,897
固定負債		
長期借入金	1,905,945	1,991,123
繰延税金負債	58,179	58,262
退職給付引当金	55,786	48,182
役員退職慰労引当金	305,452	314,183
資産除去債務	18,227	—
その他	4,139	4,675
固定負債合計	2,347,730	2,416,426
負債合計	8,346,946	8,005,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,127,755	1,127,755
利益剰余金	6,024,416	5,966,896
自己株式	△126,585	△126,585
株主資本合計	8,008,361	7,950,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,380	33,968
為替換算調整勘定	△1,363,278	△1,498,723
評価・換算差額等合計	△1,325,897	△1,464,754
新株予約権	31,918	27,755
少数株主持分	1,145,451	1,052,465
純資産合計	7,859,832	7,566,306
負債純資産合計	16,206,778	15,571,630

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2010年3月1日 至2010年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2011年3月1日 至2011年5月31日)
売上高	2,179,774	2,563,156
売上原価	1,470,251	1,806,306
売上総利益	709,523	756,850
販売費及び一般管理費	440,754	526,900
営業利益	268,768	229,949
営業外収益		
受取利息	2,169	2,751
為替差益	537	10,644
補助金収入	25,702	6,490
その他	10,972	2,126
営業外収益合計	39,383	22,013
営業外費用		
支払利息	14,519	12,726
その他	1,394	1,868
営業外費用合計	15,914	14,595
経常利益	292,237	237,367
特別利益		
投資有価証券売却益	1,437	362
特別利益合計	1,437	362
特別損失		
有形固定資産除却損	—	19
投資有価証券売却損	5,157	5,469
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,847
特別損失合計	5,157	14,336
税金等調整前四半期純利益	288,517	223,393
法人税、住民税及び事業税	50,121	139,169
法人税等調整額	8,383	△39,302
法人税等合計	58,504	99,867
少数株主損益調整前四半期純利益	—	123,526
少数株主利益	47,280	32,426
四半期純利益	182,732	91,099

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社グループは、無塵化対応搬送用ロボットやその応用装置を開発・製造・販売している単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては品目別に記載しております。

(1) 生産実績

品目別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	1,417,682	124.1
ガラス基板搬送機	385,607	156.2
モータ制御機器	20,983	180.1
合計	1,824,273	130.0

(注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

モータ制御機器については見込生産によっておりますが、ウエハ搬送機及びガラス基板搬送機につきましては、受注生産を行っております。

ウエハ搬送機及びガラス基板搬送機の受注状況は次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	1,965,545	94.8	2,594,597	123.5
ガラス基板搬送機	903,766	77.2	734,135	92.7
合計	2,869,311	88.4	3,328,732	115.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

品目別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	1,576,355	118.3
ガラス基板搬送機	584,914	107.8
モータ制御機器	26,465	83.1
部品・修理 他	369,575	139.9
商品	5,846	88.4
合計	2,563,156	117.6

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
三星電子株	514,200	23.6	438,773	17.1
台湾セミコンダクター・マニファクチャリング・カンパニー・リミテッド	369,023	16.9	—	—

(注) 台湾セミコンダクター・マニファクチャリング・カンパニー・リミテッドに対する当第1四半期連結累計期間の売上高は、191,259千円(総販売実績に対する割合7.5%)であります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。